

# 車載組込みシステムフォーラム 2019

## 第31回次世代自動車公開シンポジウム

主催：車載組込みシステムフォーラム（ASIF）  
共催：名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ領域  
後援(予定)：一般社団法人組込みシステム技術協会 中部支部  
組込みシステム産業振興機構  
NPO法人TOPPERSプロジェクト  
公益社団法人自動車技術会

車載組込みシステムフォーラム（ASIF：Automotive Embedded System Industry Forum）は、東海地区の車載組込みソフトウェア産業を発展させることを目的として、2008年4月1日に設立されました。勉強会、スキルアップセミナー、応用技術セミナーなど、人材や企業の育成のための活動を実施しています。今般、広く組込みシステムに関連する方々を対象として、車載組込みシステム技術に関する最新動向などの情報共有と、関係企業等の交流を目的としたフォーラムを開催します。

日時

2019年1月31日(木)  
10:00~16:30

会場

ナディアパーク  
デザインセンタービル3階  
デザインホール

### ACCESS

名古屋市中区栄三丁目18番1号

#### ■交通案内

- ・名古屋市地下鉄名城線「矢場町」駅 5・6番出口 徒歩5分
- ・名古屋市地下鉄東山線「栄」駅 7・8番出口 徒歩7分

■URL：<http://www.nadyapark.jp/>



定員 400名

参加費

#### ASIF会員

名古屋大学 未来社会創造機構  
モビリティ領域 関係者  
無料

#### 後援団体会員

2,500円

#### 非会員

5,000円

当日現金でお支払ください

交流会

17:00~19:00  
定員 100名  
お気軽にご参加ください

会場：レストラン「宙」ナディアパーク店  
(ビジネスセンタービル8F)

会費

会員・非会員共に5,000円

経済産業省 中部経済産業局  
紹介ブース

中部経済産業局の施策を資料により、紹介します。

<http://www.chubu.meti.go.jp/>

車載組込みシステムフォーラム（ASIF）

<http://www.as-if.jp>



# プログラム

## ASIF活動紹介

10:00-10:40 「車載組込みシステム開発の現状とASIFの活動」

車載組込みシステムフォーラム会長  
名古屋大学大学院 情報学研究科  
附属組込みシステム研究センター長 教授

**高田 広章**

概要：車載組込みシステム業界における開発の現状に関する話題提供とASIFの活動状況紹介

## 基調講演

10:45-11:45 「運転支援・自動運転における安全技術の進化について」

神奈川工科大学 創造工学部 自動車システム開発工学科長  
先進自動車研究所 所長  
自動車工学センター長 教授

**井上 秀雄 氏**

概要：JST S-イノベ「高齢社会を豊かにする科学・技術・システムの創成」プロジェクトの研究開発内容を中心に、危険予測制御、ヒヤリハットデータを基にした危険予測AI、人間と機械が協調するシェアードコントロール等の最新技術を紹介し、運転支援・自動運転における安全技術の進化の方向性を皆さんと共に考える。

## 専門セミナー1

13:05-14:05 「「モノづくり」「コトづくり」の融合と求められるサイバーセキュリティ対策」

WHITE MOTION CEO

**蔵本 雄一 氏**

概要：近年、モノづくりの世界にコトづくりが融合されてきている事を受けて、セキュリティ要求事項が変化してきています。本セッションでは、自動車のソフトウェア化やCASEを通して次世代の自動車に必要とされるセキュリティ要求事項について考えます。

## 専門セミナー2

14:10-15:10 「自動運転バスがもたらす未来とSBドライブの自動運転の取り組み」

SBドライブ株式会社 シニアプロジェクトマネージャ

**大澤 定夫 氏**

概要：一昨年3月に沖縄県南城市にて実証実験を開始しました。石垣島、沖縄宜野湾で進化させ、2018年2月には羽田の一般公道にてレベル4での走行実験に成功、10月には日立市で信号協調の成功、と車両制限のない混在交通として自動運転バスのデモ走行を行ってます。弊社がなぜ路線バスの自動運転から取り組むのか、現状と今後の展望等をお話し致します。

## 専門セミナー3

15:30-16:30 「ドイツPEGASUSプロジェクトにおける自動運転機能の安全性評価法の標準化動向と課題」

公益社団法人自動車技術会 電子電装部会 部会長  
(株)デンソー 技術開発推進部 国際標準推進室  
シニアアドバイザー

**菅沼 賢治 氏**

概要：レベル3以上の自動運転機能を市場に導入する際の評価方法が世界の自動車産業での大きな課題になっている。特にドイツでは、自動車産業で産官学連携のPEGASUSプロジェクトが始まっており自動運転機能の型式認証に向けた手法の具体化に取り組んでいる。一方で、自動運転を取り巻く新たな技術や社会動向は大きく変化している。今回、特に標準化の観点から独PEGASUSプロジェクトなどの世界動向を踏まえ、今後、日本が取り組むべき課題を探る。

申込  
方法

★下記Webサイトからお申し込みください。  
<http://www.as-if.jp/forum-form.html>

聴講希望の方は事前登録が必要です。  
講演、交流会ともに定員数になり次第、受付を締め切らせていただきますので予めご了承下さい。

ASIF 検索

申込締切：2019年1月24日(木)

問い合わせ先：車載組込みシステムフォーラム (ASIF) 事務局  
公益財団法人中部科学技術センター イノベーション創出支援室 伊藤  
TEL : 052-231-6723 FAX : 052-204-1469 E-mail : monodukuri@cstc.or.jp